

ヤングシート Young Seat



5/17²⁰²⁵
(土) 会場 サントリーホール

都響スペシャル
TMSO Special

指揮／クシシュトフ・ウルバンスキ
ピアノ／アンナ・ツィブレヴァ

ペンデレツキ：
広島の犠牲者に捧げる哀歌
(約10分)

ショスタコーヴィチ：
ピアノ協奏曲第2番 へ長調 op.102
(約20分)

ショスタコーヴィチ：
交響曲第5番 ニ短調 op.47
(約47分)

ホールでの 過ごし方

◎携帯電話や音の鳴るモノは
電源を切りましょう。

◎演奏中はお話ししないで静かに
聴きましょう！周りの人も演奏を
楽しみに来ています。

◎公演中の録音・録画、写真
撮影は禁止です。終演後の
カーテンコール時のみ
写真の撮影が可能です。

東京都交響楽団

〔Program Notes〕 プログラムノート

今日のコンサートでは、ポーランド出身の注目の指揮者ウルバンスキが登場し、彼の得意とするショスタコーヴィチの作品をお届けします。また、今年は広島への原爆投下から80年を迎えます。それにちなみ、ポーランドの大作曲家ペンデレツキの傑作を冒頭に演奏します。

ペンデレツキ：広島の犠牲者に捧げる哀歌

クシシュトフ・ペンデレツキ（1933～2020）は、ポーランドの作曲家で、20世紀の音楽に革新をもたらしました。若いころは真新しい実験的な音楽で注目され、のちに伝統的な作曲方法も取り入れました。

52人の弦楽器奏者によって演奏される《広島の犠牲者に捧げる哀歌》は、ペンデレツキが27歳を迎える年（1960年）に作曲されました。これは彼の代表作となっただけでなく、世界に衝撃を与え、20世紀音楽の傑作に数えられています。

曲は鋭い叫び声のような鋭い響きで始まります。奏者は少しずつ高さの異なる音を重ね、和音というよりも“音の塊”のような音響を生み出します。これは「トーン・クラスター」と呼ばれ、強い緊張感を生み出します。さらに、楽器のボディを叩いたり、弦をこすりつけるノイズを使ったりと、特徴的な響きを作品全体に用いています。

もともとは単に「8分37秒」という演奏時間を示す題名でしたが、実際の演奏を聴いたペンデレツキは心を動かされ、広島原爆犠牲者に捧げる曲としました。この作品は、戦争の悲惨さと人間の苦しみを強烈に伝え、平和への願いを深く刻み付けるものとなったのです。

ショスタコーヴィチ：ピアノ協奏曲第2番 へ長調 op.102

ドミトリー・ショスタコーヴィチ（1906～1975）は、勇ましい交響曲からユーモラスな室内楽、シリアスなピアノ曲まで、多彩な音楽を残しました。このピアノ協奏曲第2番は、彼が愛する息子マキシムのために書いたもので、全体的に明るく朗らかな曲調となっています。父と息子の思い出が込められているのかもしれません。作曲された1957年当時、マキシムはモスクワ音楽院の学生で、初演はマキシム自身のピアノ独奏により音楽院の大ホールで行われました。



Dmitri Dmitriyevich
Shostakovich

曲は3つの楽章からできています。**最初の楽章**は木管楽器で始まり、すぐにピアノも入ります。小太鼓の響きが鼓笛隊の行進を思わせ、ピアノがわんぱくに動き回るユーモラスな音楽となります。**第2楽章**はうって変わって、3拍子のしっとりとした音楽。ピアノはやさしく切ないメロディを奏でます。そして、ピアノの素早く細やかな音型から**第3楽章**へと突入します。ピアノに練習曲風の（ピアノ学習で有名なハノン教則本を思わせる）音型も現れて、にぎやかに締めくくられます。

ショスタコーヴィチ：交響曲第5番 ニ短調 op.47

現在のロシアは、かつてソヴィエト連邦（ソ連、1922～1991年）という国でした。ショスタコーヴィチは、ソ連時代に活動した作曲家です。当時のソ連では、政府の役人たちが常に目を光らせ、人々を監視していました。社会主義という思想のもと、国の方針を乱すような活動をする人がいれば、厳しく取り締まっていたのです。たとえ芸術家であっても、国の方針に見合う作品を作らなければ、逮捕されたり処刑されたりもする、恐ろしい時代でした。

ショスタコーヴィチもそうした中で、いわば“命がけ”で作曲を続けていました。ある時、彼の作ったオペラが政府から厳しく批判をされてしまいました。このままでは生きていけないかもしれない……そんな不安に陥ったショスタコーヴィチは、その翌年にこの交響曲第5番を発表しました。表向きは、「苦しみを乗り越えて、社会主義が勝利に輝く！」という筋書きに見える曲だったので、政府の評価は上々でした。しかし、本当のところショスタコーヴィチがどんな思いをこの交響曲に込めたのか、その真意はだれも知ることはできません。一つ確かに言えるのは、この音楽の持つ力強いエネルギーは、時代や国や思想を超えて、多くの人々の心を揺さぶるということです。

作品は、シリアスで個性的な主題がいくつも登場する**第1楽章**、皮肉をふくんだ舞曲風の**第2楽章**、暗さのある調べが伸びやかに続く**第3楽章**、勇ましい主題（A）とゆったりとした主題（B）とがA-B-Aの形で現れ、輝かしく幕を閉じる**第4楽章**で構成されています。

文／飯田有抄（クラシック音楽ファシリテーター）

今年2025年はショスタコーヴィチ没後50年。
ショスタコーヴィチの曲がたくさん演奏されます。

都響公式  YouTube チャンネルでは、昨年2月に
演奏された交響曲第9番の映像を公開しています。

♪ショスタコーヴィチ：交響曲第9番 変ホ長調 op.70
都響スペシャル
2024年2月17日（土）サントリーホール
指揮／エリアフ・インバル



他にも都響の楽団員のインタビューや
「ラジオ体操第一 オーケストラ演奏」など、
東京都交響楽団の演奏を映像で
お楽しみいただけます。



大太鼓、小太鼓、
トライアングル
シンバル、タムタム、
グロッケンシュピール
シロフォン



ティンパニ



【オーケストラ配置図】

5 / 17 都響スペシャル

※楽器の配置は一例です。
当日のステージで確認
してください。



ホルン



トランペット



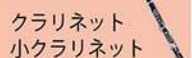
トロンボーン



チューバ



チェレスタ



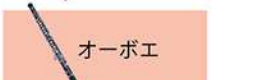
クラリネット
小クラリネット



ファゴット
コントラファゴット



フルート
ピッコロ



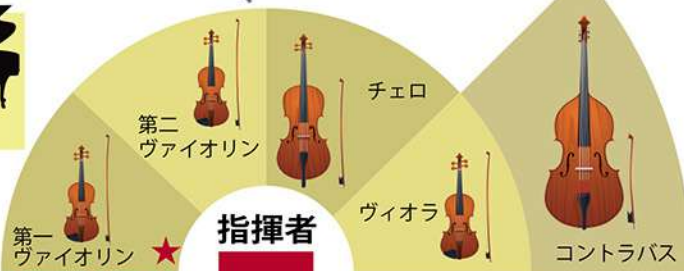
オーボエ



ピアノ



ハープ



第一
ヴァイオリン ★
★コンサートマスター

指揮者

ヴィオラ

チェロ

コントラバス

Profile



© Grzesiek Mart

指揮

クシシュトフ・ウルバンスキ Krzysztof URBAŃSKI, *Conductor*

ショパン音楽大学でアントニ・ヴィトに指揮を学ぶ。2007年、プラハの春指揮コンクール第1位。これまでにNDRエルプフィル首席客演指揮者などを歴任。現在、スイス・イタリアーナ管弦楽団首席客演指揮者、ベルン交響楽団首席指揮者、ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団音楽監督および芸術監督を務めている。

これまでにウィーン・フィルハーモニー管弦楽団などを指揮。オペラではチューリッヒ歌劇場での『フィデリオ』などに登場。都響とは今回が初共演。



© Anna Gryzlova

ピアノ

アンナ・ツィブレヴァ Anna TSYBULEVA, *Piano*

2015年、リーズ国際ピアノ・コンクールで優勝、国際的な脚光を浴びた。

ロシア連邦の共和国の一つであるカラチャイ・チェルケス共和国出身。モスクワ中央音楽学校、モスクワ音楽院、バーゼル音楽大学を経てモスクワ音楽院大学院を修了。アムステルダム・コンサートヘボウなど多くの国際的な舞台でリサイタルを開いたり、フランクフルト放送交響楽団 (hr響) などと、ユーリ・テミルカーノフなどの指揮者と共演。CDも多数リリースしている。

管弦楽

東京都交響楽団 Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

東京オリンピックの記念文化事業として、東京都が1965年に設立し、2025年に創立60周年を迎えた。都響(ときょう)という愛称で親しまれている。

東京文化会館(上野)を本拠地として、オーケストラの演奏会を開催する他、交響組曲『ドラゴンクエスト』(全シリーズ)などゲーム音楽の演奏、教育活動や福祉施設での出張演奏など多彩な活動を展開している。



© Rikimaru Hotta



<https://www.tmsso.or.jp/>